

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 12 日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県大垣市笠縫町100番地1

氏 名 イビデン株式会社 大垣中央事業場
事業場長 田中 弘幸

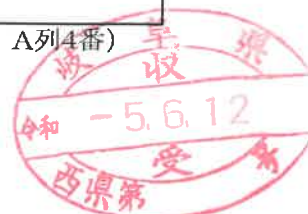
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0584-83-8620

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	イビデン株式会社 大垣中央事業場
事業場の所在地	岐阜県大垣市笠縫町100番地1
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	28：電子部品・デバイス・電子回路
② 事業の規模	出荷額 ： 92,550 百万円
③ 従業員数	1,918 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・パッケージ基板製造工程からの発生する産業廃棄物 廃プラ→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 廃油→処理業者に委託して燃料として熱回収・メッキ工程から発生する産業廃棄物 廃アルカリ→社内と再生処理業者に委託して無害化处理 廃酸→社内と再生処理業者に委託して無害化处理・水処理工程から発生する産業廃棄物 汚泥→中間処理業者に依頼して脱水後埋め立て処分

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業場長（産業廃棄物処理統括責任者）



→ 産業廃棄物処理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者



→ 事業場（産業廃棄物担当チーム）



→ PKG事業部EHS推進チーム（産業廃棄物担当チーム）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 1. 廃液類については、製品の歩留まり改善、不良率の改善		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 1. 更なる製品の歩留まり改善、不良率の改善 2. 適正な水量調整による排水量削減 3. 技術改善、工法の改善を取り入れた使用薬液の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1. 基板の端材処理を事業場内に分別箱を設置し、金属回収業者に有償処理している。 2. 保護具類の分別化を進め、購入業者とリサイクルを考えた製品の回収を勧める。 3. 使用済みおが屑、梱包資材を各メーカーにてリユースして頂くために傷・汚れを付けない使用、管理を徹底する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1. 廃プラ類の分別をすすめ、新規に受入業者を開拓して廃棄物の原料化を進め、再生利用を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 廃酸、廃アルカリの中和・脱水による銅金属の再利用をしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 廃酸、廃アルカリの中和剤の適正使用量検討により、 ろ過材ライフアップによる廃棄物削減		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
①現状	（これまでに実施した取組） 廃酸、廃アルカリのPH調整・金属除去・中和・脱水等による環境に 無害化し産業廃棄物削減を行っている。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 廃液・排水の自社中間処理技術の確立を進め、 自社中間処理量増加を進める。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 埋め立て、海洋投入の実施無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状業者には優良認定申請を依頼し、 優良認定処理業者を新たに選定の検討をする。		
※事務処理欄			

令和4年度の産業廃棄物発生量（実績）及び令和5年度の目標

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (単位： t)

	産業廃棄物の種類		廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃プラスチック	合計	
①現状	排	出量	前年度実績	886,486	518,193	50	38	365	1,405,131
②計画	排	出量	目標	877,600	513,000	50	40	360	1,391,050

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0	0	0	0	0	0
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	目標	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	前年度実績	878,453	516,756	0	0	0	1,395,210
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	目標	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	目標	869,700	511,600	0	0	0	1,381,300

自ら行う産業廃棄物の埋立処分にに関する事項

①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0	0	0	0	0	0
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	目標	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	全処理委託量	前年度実績	8,033	1,436	50	38	365	9,921
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	410	174	103	38	217	941
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	40	75	0	0	149	264
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0	0	50	0	216	265
②計画	全処理委託量	目標	8,000	1,400	0	0	400	9,800
	優良認定処理業者への処理委託量	目標	400	200	100	0	200	900
	再生利用業者への処理委託量	目標	0	100	0	0	100	200
	認定熱回収業者への処理委託量	目標	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	目標	0	0	0	0	200	200

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。